

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 女性看護学分野

科目コード：260002

## 女性看護学特論Ⅱ Women's Health Nursing Ⅱ

担当教員	吉田 和枝 大平 光子 山岸 英子 三島 祐子				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義・討議
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	母子保健、母子保健統計、周産期、出産、家族、ペリネイタル・ロス、開業助産師、運営、不妊、遺伝、カウンセリング、ソーシャルサポート				
学習目的・目標	日本および世界の母子保健状況を把握する。周産期にある女性の発達課題を身体的、心理的、社会的側面から捉え、安全で満足感のある出産体験となる助産ケアを考える。および親性、家族の発達を促す援助についても探求する。また、子どもを失った女性とその家族、不妊、遺伝的問題を抱えた人々へのケアについても理解を深める。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1～2	日本の母子保健の課題と母子保健活動			講義・討議	吉田
3～4	世界の母子保健の課題と母子保健活動、国際協力			講義・討議	吉田・山岸
5～6	出産体験の認識と達成感のある出産への援助、出産の満足度評価			講義・討議	吉田
7	周産期にある女性への心理的危機とマタニティブルー、産褥うつ病			講義・討議	吉田
8～9	親への移行期、母性課題、母性の発達、親準備性への形成への支援			講義・討議	吉田・大平
10～12	出産・育児における家族（祖父母等）の支援・多職種と協働して実践する地域母子保健活動			講義・討議	吉田
13～14	不妊と不妊カウンセリング 周産期の遺伝カウンセリング			講義・討議	吉田・三島
15	まとめ 全体を通しての討議			討議	吉田
教科書	随時提示する				
参考図書等	随時提示する				
評価指標	出席状況と課題発表、討論への参加状況、レポート内容により総合的に評価する。				
関連科目	家族看護学、地域看護学、子どもと家族の看護学				
教員から学生へのメッセージ	日本、世界の母子保健状況を把握し今後の課題を考えていく。また、周産期にある女性と家族へのケアを探求する科目です。				